

第78期報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

ムンバット株式会社

証券コード：8115



株主の皆様へ



代表取締役
会長兼社長執行役員

中 村 卓 司

平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第78期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、その概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業の収益改善や雇用・所得の環境改善を背景に緩やかな回復基調が見られましたが、米中貿易交渉や英国のEU離脱等不確実性が残り、景気の先行きへの不透明な状況が続いております。

当服飾雑貨業界におきましても、消費者ニーズの多様化による消費動向の変化や根強い節約志向による買い控え傾向が依然続く中、当社グループは2017年4月より事業戦略部を新設し、新しい消費者ニーズへの対応、既存の販売ルート以外のチャネルでの売上・収益の拡大を推進すべく体制を強化しております。また当社グループ主力の雨傘・パラソルにおける新ブランド提案による量販店販路並びに専門店マーケット向けの売上拡大やEコマース事業に積極的に取り組みました。しかしながら、当社グループの主たる百貨店販路で夏場の猛暑によるパラソル需要の高まりはあったものの、秋口からの暖冬の影響で冬物消費のマインドが大きく落ち込んだことと、百貨店の閉店影響もあり総じて厳しい状況が続いた結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は116億24百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

損益面では、営業利益は1億90百万円（前年同期比68.6%減）、経常利益は2億49百万円（前年同期比62.0%減）となり親会社株主に帰属する当期純利益は1億32百万円（前年同期比68.2%減）となりました。

市場では、お客様のニーズは多様化し、高額品から低価格帯に至るまで幅広く、商品の付加価値に見合った妥当な価格での提供が求められております。地球環境に配慮した素材や商品に対する社会の関心も益々高くなってきております。

個人消費は持ち直しの動きとなっておりますが、消費者の節約志向は依然根強く、また、当社グループの主力販売先である百貨店では、地方・郊外型店舗において採算悪化を主因とする閉店・縮小が継続しております。さらに生産にかかる人件費・原材料・物流コストの高騰等によるコストアップ要因や為替変動リスクが存在するなど、引き続き当社グループを取り巻く環境は先行き不透明な状況となっております。

そのような中、当社グループでは販売スタッフの見直しや在庫の削減に取り組み商品回転率の向上を目指してまいります。また、2017年4月より事業戦略部を新設し、既存の販売ルート以外のチャネルでの売上・収益を拡大し新しい柱となる事業の構築を推進する体制を強化しております。引き続き、生産拠点の変更、原材料・生産方法の見直し等によるコストダウンを進めながら、お客様のニーズに即応した質の高い物づくりを推進し魅力ある商品をマーケットに提供し続けることに注力し、売上及び利益の拡大を図ってまいります。さらに徹底した経営の効率化により、安定的な収益を維持できる企業基盤の構築に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況

<部門別業績>

(洋傘部門)

当連結会計年度の売上高は、57億97百万円、前年同期比11.2%の増収となりました。

雨傘・レイングッズ市場は、梅雨時期の有効降雨にも恵まれ堅調に推移し、特にレイングッズはゲリラ豪雨対策の影響もありここ数年の中でも好調な売上となりました。またパラソルは猛暑の影響を受け、マーケットでの需要が高まった結果、大幅に売上を伸ばすことが出来ました。雨傘においても新設の事業戦略部を中心に販路拡大の新ブランド「FLO(A)TUS」「estää」を新しい販路へ販売したことも寄与し、洋傘部門合計の売上高は前年同期を上回りました。

(洋品部門)

当連結会計年度の売上高は、24億81百万円、前年同期比19.9%の減収となりました。

洋品市場は猛暑・暖冬の影響で年間を通じて低調に推移致しました。当社グループにおきましては、冬物商戦でモンゴル製カシミヤのオリジナルブランド商品が好調に推移するなど、店頭販売を強化致しましたが、冬物商品の落ち込みと百貨店閉店による売上の減少をカバーすることが出来ず、洋品部門合計の売上高は前年同期を大きく下回りました。

(帽子部門)

当連結会計年度の売上高は、20億82百万円、前年同期比15.9%の減収となりました。

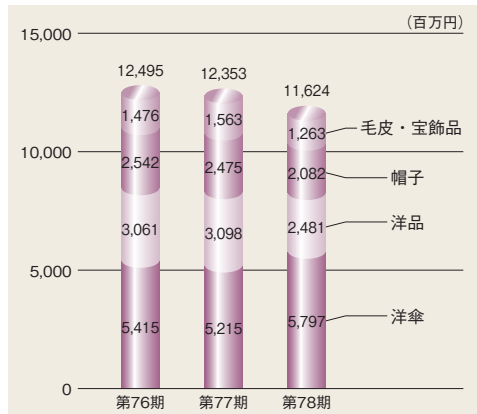
帽子市場はここ数年のスポーツカジュアル商品のニーズの高まりなど低価格帯でのマーケット変化はあるものの、帽子マーケット全体の消費が低迷したことや暖冬による冬物商戦においてニットアイテムの不振などマーケットは低調に推移致しました。当社グループにおきましては、オリジナルブランドを中心とした店頭でのミシン実演イベント等を積極的に行い、販売促進活動を強化致しましたが売上の減少をカバーできず、帽子部門合計の売上高は前年同期を下回りました。

(毛皮・宝飾品部門)

当連結会計年度の売上高は、12億63百万円、前年同期比19.2%の減収となりました。

暖冬の影響や百貨店アパレル全体の低迷により高額帯マーケットは盛り上がり欠ける展開となりました。毛皮商材と毛皮小物をミックスした商品での新規イベントによる百貨店販路での店頭販売強化やエコファーニーズの高まりによるマーケットへの対応等に注力致しましたが、毛皮・宝飾品部門合計の売上高は前年同期を下回りました。

事業区分別売上高の推移



当社グループの財産及び損益の状況の推移

区 分	第75期 (2016年3月期)	第76期 (2017年3月期)	第77期 (2018年3月期)	第78期 (当連結会計年度 (2019年3月期))
売上高(百万円)	12,529	12,495	12,353	11,624
経常利益(百万円)	391	626	655	249
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	222	470	415	132
純資産(百万円)	8,041	8,440	8,691	8,712
総資産(百万円)	12,572	12,683	12,764	12,955
1株当たり当期純利益(円)	44.79	95.55	84.71	27.11
1株当たり純資産額(円)	1,619.52	1,720.46	1,782.77	1,789.48

財務諸表の概要 (連結)

●連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 (2019年3月31日現在)	前期 (2018年3月31日現在)	科目	当期 (2019年3月31日現在)	前期 (2018年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	7,696	7,342	流動負債	3,174	2,970
現金及び預金	923	834	支払手形及び買掛金	969	1,003
受取手形及び売掛金	3,076	3,469	電子記録債務	433	387
たな卸資産	3,302	2,779	短期借入金	1,019	741
その他	407	269	未払法人税等	53	87
貸倒引当金	△ 13	△ 11	賞与引当金	75	86
			返品調整引当金	169	210
			その他	454	453
固定資産	5,258	5,422	固定負債	1,068	1,102
有形固定資産	3,457	3,563	長期借入金	337	367
土地	2,230	2,230	退職給付に係る負債	387	402
その他	1,227	1,332	その他	343	332
無形固定資産	668	675	負債合計	4,243	4,072
のれん	128	170	純資産の部		
その他	540	504	株主資本	8,614	8,633
投資その他の資産	1,132	1,183	資本金	3,339	3,339
投資不動産	543	558	資本剰余金	1,041	1,041
その他	617	652	利益剰余金	4,689	4,703
貸倒引当金	△ 28	△ 27	自己株式	△ 456	△ 450
資産合計	12,955	12,764	その他の包括利益累計額	98	57
			その他有価証券評価差額金	58	63
			繰延ヘッジ損益	17	△ 15
			為替換算調整勘定	15	12
			退職給付に係る調整累計額	7	△ 2
			純資産合計	8,712	8,691
			負債及び純資産合計	12,955	12,764

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益及び包括利益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当期	前期
	(2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	(2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
売上高	11,624	12,353
売上原価	6,797	7,081
売上総利益	4,826	5,271
販売費及び一般管理費	4,635	4,664
営業利益	190	607
営業外収益	100	97
営業外費用	42	49
経常利益	249	655
特別利益	—	—
特別損失	—	4
税金等調整前当期純利益	249	650
法人税、住民税及び事業税	104	213
法人税等調整額	12	22
親会社株主に帰属する当期純利益	132	415
包括利益	172	428

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	当期	前期
	(2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	(2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	21	403
投資活動によるキャッシュ・フロー	38	△ 10
財務活動によるキャッシュ・フロー	26	△ 465
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	89	△ 77
現金及び現金同等物の期首残高	834	912
現金及び現金同等物の期末残高	923	834

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●連結株主資本等変動計算書 (2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額						純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,339	1,041	4,703	△ 450	8,633	63	△ 15	12	△ 2	57	8,691	
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△ 146		△ 146						△ 146	
親会社株主に帰属する当期純利益			132		132						132	
自己株式の取得				△ 5	△ 5						△ 5	
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 5	33	2	10	40	40	
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 14	△ 5	△ 19	△ 5	33	2	10	40	20	
当期末残高	3,339	1,041	4,689	△ 456	8,614	58	17	15	7	98	8,712	

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表の概要（単体）

●貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 (2019年3月31日現在)	前期 (2018年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	6,898	6,683
固定資産	5,519	5,644
資産合計	12,418	12,328
負債の部		
流動負債	3,018	2,841
固定負債	1,038	1,057
負債合計	4,057	3,899
純資産の部		
株主資本	8,285	8,379
資本金	3,339	3,339
資本剰余金	1,039	1,039
利益剰余金	4,362	4,450
自己株式	△ 456	△ 450
評価・換算差額等	75	50
その他有価証券評価差額金	58	63
繰延ヘッジ損益	17	△ 13
純資産合計	8,360	8,429
負債及び純資産合計	12,418	12,328

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
売上高	11,076	11,888
売上原価	6,930	7,311
売上総利益	4,146	4,577
販売費及び一般管理費	4,232	4,278
営業利益及び営業損失	△ 86	298
営業外収益	223	218
営業外費用	47	55
経常利益	89	460
特別利益	—	—
特別損失	—	4
税引前当期純利益	89	456
法人税、住民税及び事業税	9	118
法人税等調整額	22	16
当期純利益	57	322

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

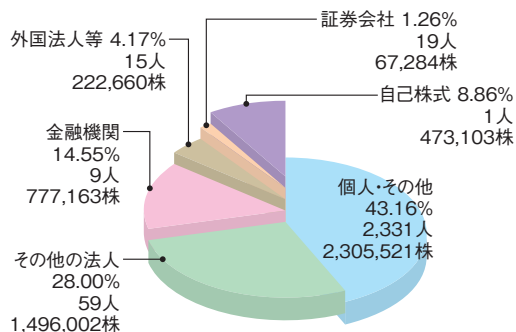
株式の状況 (2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 15,000,000株
- 発行済株式の総数 4,868,630株
(自己株式473,103株を除く)
- 株主数 2,434名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社ニード	740	15.21
八木通商株式会社	360	7.39
ムーンバット持株共栄会	236	4.86
株式会社三井住友銀行	232	4.76
河野正行	210	4.31
株式会社京都銀行	170	3.49
日本生命保険相互会社	160	3.29
京都中央信用金庫	146	3.01
ムーンバット従業員持株会	116	2.40
岡本 緑	115	2.38

(注) 持株比率は自己株式(473,103株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



会社の概要 (2019年3月31日現在)

社名 ムーンバット株式会社
 英文社名 MOONBAT CO., LTD.
 本社 京都市下京区室町通四条南入鶏鉾町493番地
 東京本部 東京都千代田区九段北4-1-3
 飛栄九段北ビル4階
 支店 東京・大阪・福岡・名古屋・札幌(営業所)
 創業 明治18年3月(西暦1885年)
 設立 昭和16年9月(西暦1941年)
 資本金 33億39百万円
 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 従業員 258名(連結)・189名(単体)
 事業内容 洋傘・洋品・毛皮・レザー・宝飾品・帽子などの
 アクセントファッション商品の企画、輸入、製造、
 仕入、販売等を主な事業内容としております。

ホームページアドレス <https://www.moonbat.co.jp>

重要な子会社の状況

会社名	資本金	主要な事業内容
ルナ株式会社	60,000千円	毛皮・宝飾商品の企画販売
東京ファッションプランニング株式会社	48,720千円	物流業務の受託、デザイン等の企画
株式会社グローリー	35,200千円	洋傘、パラソル等の製造、加工、販売
エクセレントスタッフ株式会社	26,000千円	販売業務の業務請負等
A.F.C. ASIA LIMITED	1,000千香港\$	貿易業

取締役及び執行役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役・会長社長執行役員	中村卓司	
取締役・専務執行役員	武内敏和	事業本部長
取締役・常務執行役員	杉岡善秀	東京支店長
取締役・常務執行役員	山田隆二	管理本部長(兼) リスク管理・コンプライアンス担当
取締役・執行役員	鎌田尚	事業本部副本部長(兼) パラソル・洋傘事業部長(兼) 洋品事業部長
取締役・執行役員	藪内康彦	経営企画・リスク管理室担当(兼) 事業戦略部担当(兼) 関係会社管理部門担当
取締役(監査等委員)	大道晃	
社外取締役(監査等委員)	郷田紀明	公認会計士
社外取締役(監査等委員)	安川文夫	公認会計士
執行役員	清水雅壽	システム部ヘッド
執行役員	山本聡	東京ファッションプランニング株式会社 代表取締役社長

株 主 メ モ

- *事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- *定時株主総会 毎年6月開催
- *基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日（中間配当をする場合）
その他必要な場合はあらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

- ・証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- ・証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、下記の電話照会先にご連絡ください。
- *株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- *株主名簿管理人事務取扱場所 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063）
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） ☎0120-782-031
（インターネットホームページURL） <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- *公告方法 電子公告とし、当社ホームページ（<https://www.moonbat.co.jp>）に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- *上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

《ご案内》配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様へ

- より早く、安全、確実に配当金をお受け取りいただくために、銀行預金口座への振込によるお受け取りをお勧めいたします。手続きについてのお問い合わせ先は次のとおりです。
- ・証券会社に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社へお問い合わせをお願いいたします。
 - ・証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせをお願いいたします。

【表紙の写真】



表紙の商品は：Luna Luce Conte 2019春夏コレクション
詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

